

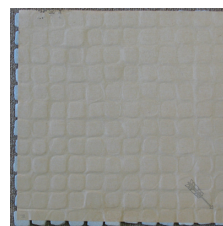
タイル製品施工に関するお願いと注意点

アートモザイクスクエア

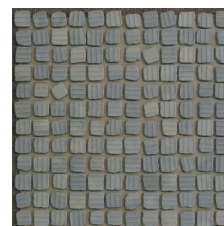
50角	KZ2-231A	KZ2-231B	KZ2-231C
25角	KZ2-231D	KZ2-231E	KZ2-231F

この商品は、各々の小さなモザイクタイルをシートに貼った状態（表紙ばり）でお届けしています。従いまして、製品の表面が見えない状態になっています。

見本として評価されますとき、又、実際に現場で施工をされます時には必ず下記の注意事項をご確認の上、ご対応をお願いいたします。



表面



裏面

タイル張りについて

ボンドは弾性接着剤を推奨（モルタル施工は不可）
浴槽の中、プールの中など 常時水の触れる場所は不可

1 下地の表面状態を確認・調整

- ① 浮き、き弱層、ひび割れ等はないか確認。
- ② 下地面の清掃を行う。
（下地の汚れ、埃などの付着物があると下地と接着剤との接着が悪くなり不具合につながります。）
- ③ 下地面を十分に乾燥させる
（弾性接着張りは、モルタルと異なり下地が乾燥している必要がある。下地がぬれていると接着が悪くなります。）

2 タイル張り

- ① 接着剤は、くし目ごてを用いて必要量を塗布する。
- ② 接着剤の塗布面積は、接着剤の貼付け可能時間内に張り終える面積とする。製品は手で揉み込む、振動工具（ヴィブラート）で押さえる等の方法で接着剤の張り付け可能時間内に張り終える。
＊一液反応硬化形の接着剤は、開封すると空気中の湿気と反応して硬化が進むため、直ちに使用する。
＊二液反応硬化形の接着剤は主剤と硬化剤が所定の割合となるように正確に計量して混合しないと本来の性能が発揮できない。
- ③ 下地と製品との接着状況を見るため、適時、製品をはがして確認する。
（その良否の判定は製品裏面への接着剤の付着面積が70%以上、かつ、製品裏面全体に均等に付着していることとする。）
- ④ タイル表面に接着剤が付着した場合は、硬化する前にシンナーなどの溶剤をウエスなどに染み込ませて拭き取る。
この時、シンナーが接着剤にかからない様に注意するとともにタイルに無理な力が入らないように注意する。

3 表紙ばりについて

- ① 紙はがしをする時は、多めに水を塗布してください。
- ② 3分間程度放置し、糊に十分、水を染込ませ、さらに紙をはがす前に再度、水を塗布し、糊を柔らかくさせてから、紙をゆっくりとはがしてください。
（紙はがれにくい場合は、お湯をご使用いただきますとはがれやすくなります。）
- ③ 目地詰めの前にタイル表面を水で濡らし、スポンジなどで十分に糊を拭き取ってから目地詰めをしてください。
- ④ 目地詰め後の拭き取りは、タイル表面に目地剤が残らないようにするため、粗拭きだけでなく仕上げ拭きまで入念に行ってください。

安全に関する注意

- ・製品は雨露のあたらない場所に保管して下さい。
- ・降雨時、降雪時、及び強風時など施工に支障のある場合は施工を行わないで下さい。
- ・気温が5℃以下、及び5℃以下になると予想される場合は施工を行わないで下さい。

お願い：① 製品に対する破損・クレームなどの連絡は、製品到着後1週間以内にお願い致します。
② 施工完了後のクレームは（張り替え工事費用なども）お受けできません。施工前に製品をご確認下さい。